

飛躍

TOKAI UNIVERSITY TAKANAWADAI JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

HIYAKU

第337号



東海大学附属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日/2014年11月1日

●発行者/東海大学附属高輪台高等学校・中等部 校長・片桐知己治

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ Aim your hopes towards the stars in your early days

TOP*NEWS

第50回建学祭「あゆみ」 入場者数5,943名



第50回記念全校生徒によるハンドスタンプ



ワンダフル! 剛健旅行

建学祭開催

あゆみ

建学祭実行委員長 3年2組 河村 優希

今年は去年を超える、たくさんのお客様に来ていただきました。この50周年という良い機会に、今までのことを振り返ったり、これからのことを考えたりしてほしいという願いを込めて、テーマを「あゆみ」としました。そのテーマのとおり、各出展団体らしい「あゆみ」を感じられたのではと思います。生徒の皆さんをはじめ、先生方、保護者の方々の大きな協力があったからこそ、このような大事な回の建学祭を無事に終えることができました。本当にありがとうございました。第51回目となる来年は、さらなる「あゆみ」がみられることを楽しみにしています。

英語スピーチコンテスト

良い経験ができたのは…

1年7組 浅倉 彩夏

クラス代表に選ばれた時は、「選ばれたからには優勝しよう」という思いがありましたが、実行委員の仕事やクラスの仕事で、思うように練習できず、リハーサルの時に他の代表者のスピーチに圧倒され、正直優勝は無理だと思いました。

しかし、クラスのみならず家族、先生方が最後まで応援し、支えてくださったおかげで、自分らしいスピーチができ、優勝することができました。この経験は一生の宝物です。ありがとうございました。

英語スピーチコンテスト 結果			
優勝	1年 7組	浅倉 彩夏	
準優勝	1年 10組	仲野 龍陽	
3位	1年 3組	チャイルズ 英理紗	



左から F. マーティン先生、チャイルズさん、浅倉さん、仲野君、C. マーティン先生

日本語ディベート大会 否定側優勝

●日本語ディベート大会論題●

「日本は電車の優先席を廃止すべきである。是か非か。」

このディベートで…

2年9組 藤井 崇史

今回のディベートの論題である「優先席」は、本来必要としている人にとって、健常者と近い生活を送るためにはなくてはならないものにもかかわらず、このディベートの論題になるまでしっかりと考えたことがないという事実気付かされました。また、初めてのディベートで緊張したり、自分の仕事がちやんとできるか心配ではありましたがメンバーの支えもあり、今回現状維持を支持していた否定側が優勝という栄光を勝ち取れてうれしかったです。ただし、この場で発表した誰よりも説得力があると思ったのは、まとめをしていただいた梶川先生でした。



左から 高島君、加藤君、尾前君、松岡君、藤井君

英語ディベート大会 肯定側優勝

●英語ディベート大会論題●

“Takanawadai High School should abolish school uniforms”

英語ディベートを経て

肯定側 3年6組 坂口 亮太

ディベートメンバーに選ばれた時、ただでさえディベートは難しいのに、英語でやるということに不安を感じました。毎日どういった表現を使えばわかりやすく、かつ、優位に立てるかをメンバーと共に考えていました。文章ができてからは、英語の先生に発音の仕方や強弱の仕方をみっちり教えてもらい、万全の状態の本番に臨むことができました。自らの英語力がどこまで通じるかを試せる良い機会になりました。



左から 朱易君、宮本さん、坂口君、日塔さん、佐々木さん

2014年度 第9回知財グランプリ結果

今年で「知財グランプリ」は9回目となりました。

「知財グランプリ」は、生徒・保護者・教員の代表8名が高校のクラス展示や模擬店について、内容やメニュー・生徒の取り組み・装飾・ポスターの4つの観点から審査を行い、上位3団体とポスター部門1団体を表彰するものです。今年度も、調べ学習の発表や録音、動画など楽しい展示と、さまざまな味を楽しむことができる模擬店が企画されました。多種多様な取り組みが出揃う中、今年度も、総合部門とポスター部門の優秀クラスが選出されました。中等部3年生や高校1、2年生の皆さんは、今回の受賞クラスを参考に、次年度新たなチャレンジをしてください。



グランプリ 1年10組 ご注文は〇〇ですか？

企業訪問で調べたことなどをポスター・プレゼンテーションとして紹介していました。同じSSHの上級生から発表に関して助言をしてもらえたことで、質の高い発表ができていました。単なる発表の場ではなく、スポーツカフェとしてのくつろぎの場としての装飾にもこだわったことで、すべての項目で審査員の高い評価を得ました。

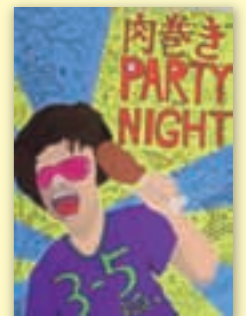
準グランプリ 3年4組 かわπ

春巻き風パイは、これまで販売されたことのない揚げ物を取り入れたいという思いから、クラスで企画や調理方法について随分話し合った結果だそうです。その取り組みが実現した逸品が審査員の高い評価を集めました。担任をイメージ化したかわいらしいポスターも魅力のひとつでした。



3年9組 かすまと小さなピザ屋さん

餃子の皮をピザにした企画は来場者の興味と食欲をそそり、常に行列の絶えない人気店になりました。装飾にもこだわり、本格的なピザ屋の趣のある店構えも見事でした。ダンボールと悪戦苦闘しながらも、明るく物づくりが大好きなクラスの雰囲気そのまま企画として現れていました。



ポスター部門賞 3年5組 肉巻きPARTY NIGHT

企画内容・場所・主催クラスがわかりやすい、ポスターとしての目的をしっかり維持しています。見る人の目を引く水色と黄色の背景のコントラストに赤い文字が映える色鮮やかな絵柄で、肉のジューシー感を強調し、客の食欲をそそるように表現したことが、審査員の目を引いたようです。

後援会から収益金を寄付していただきました!

10月11日(土)・12日(日)に建学祭(文化祭)が行われました。今年も後援会主催による「バザー」および「けやき屋食堂」は大盛況となり、後援会からは収益金を学校に寄付していただきました。準備、運営にあられた後援会の皆様には心より感謝申し上げます。また、多くの保護者の方々にバザー用品投出のご協力をいただきました。この場を借りてお礼申し上げます。

寄付いただいた収益金は、教育活動に役立つものの購入など有意義に活用させていただくとともに、一部を私学ボランティア基金へ募金させていただきます。



希望を星につなげ!

学園オリンピック文化部門 受賞者からのメッセージ

学園オリンピックに参加して(優秀賞)

理科部門 3年A組 尾上 愛

私は、今年度で学園オリンピックの理科部門に参加するのは2回目で、1年生の時に1度参加し、2年生の時には1次審査を合格することができず、本当に悔しい思いをしました。その2年生での悔しさをバネに実験を進め、3年生でのレポートは1年間の実験の成果を詰め込み、自分でもとても満足のいくレポートを書くことができました。

私が参加した理科部門では、生物、地学、物理、化学の分野の教授や先生方が、毎日日替わりで、講義を受けたり実験を行ったりします。どの講義も普通の授業では受けられないような、とても面白く、アクティブな内容でした。また、一次審査に提出した実験についてそれぞれ発表を行う場もあり、いろいろな人の研究を聞くことで新しい発見がたくさんありました。

学園オリンピックでは、それぞれの部門に分かれて活動を行うので、その分野について興味のない人がいないという利点があります。また、群馬県の嬭恋村という大自然が広がる中での活動は、学校や日々の生活では体験することができないことばかりです。そして、他校の生徒とも交流がしやすく多くの発見があります。今回、学園オリンピックに参加できて本当によかったです。

奨励賞を受賞して

理科部門 3年9組 芦野 光祐

今回、私は学園オリンピック理科部門に参加して奨励賞を受賞することができました。今回が3回目の学園オリンピック参加、そして最高学年としての参加ということで、今まで以上に全体のことを考えながら行動したことが今回の奨励賞受賞につながったのだと思います。3回目の参加になるとリピーターの友人も増え、私と同じ学年のリピーターの頑張っている姿や後輩リピーターの成長していく姿を見ていると、同じ学校の同じ部活動の仲間や後輩の成長を見ているような気分になり、自分もまだまだ負けていられないと強く思いました。まだまだ自分の研究を続け、技術を高め、自分の研究を一人でも多くの人の役に立てられるように努力を続けていきたいと強く思いました。学園オリンピックといえば、ただ5泊6日の間ずっと勉強をしているだけと思われがちですが、そんなことはありません。絶対に忘れない貴重な体験ができると思います。ぜひ参加して忘れられない経験、思い出を手に入れてみてください。

東海カルチャーセミナー

東海カルチャーセミナーに参加して

後援会学年部部长 佐藤 むつみ

今年度の東海カルチャーセミナーは、9月6日に開催されました。

第1部は本校吹奏楽部の演奏でした。今年は復活の年を迎え、9回目の全国大会金賞をめざし日夜練習に励んでいる吹奏楽部の皆さんの演奏は、とても熱のこもった素晴らしいものでした。

第2部は東海大学医学部基礎医学系分子生命科学教授、東海大学大学院医学研究科ライフケアセンター・センター長の石井直明先生より、「食育を通じた体づくり」というテーマでご講演いただきました。

普段混同しがちな「元気=疲れが翌日に残らず気力・活力にあふれていること」と、「健康=生活に支障をきたすような病気がないこと」の違いや、個体の寿命と細胞の寿命は違うことを、わかりやすくご説明いただきました。

人の皮膚は30日、赤血球は120日、神経と心臓以外のほとんどの細胞が2年で生まれ変わるそうです。

そして、細胞一つ一つの質が私たちの健康を築くこと、健康であるためには、ビタミン18種・ミネラル20種・必須アミノ酸8種の46種の必須栄養素と酵素が必要であると教えていただきました。

私たちが毎日家族に作る食事がいかに大事なのか、改めて認識する機会をいただき、家族の健康を守るためにも、1975年頃の「野菜・果物たっぷりの食事」作りを心がけ、自分自身も食べることをおろそかにしてはならないと肝に銘じました。

保護者対象一斉公開授業の後ということもあり、183名の生徒、236名の保護者の方々にご参加いただき、とても興味深い講演と一緒に拝聴できましたことを大変うれしく思います。ありがとうございました。



講師の石井直明先生

タイのチュラポーン・サイエンススクールが本校を訪問

9月17日(水)、チュラポーン・サイエンススクール(Princess Chulabhorn Science School)の先生方の訪問を受けました。

チュラポーン・サイエンススクールは、タイの王立科学中等教育学校で、男女共学の全寮制。タイ全土に合わせて12校あります。国内トップレベルの生徒を選抜して高度な理数系教育を行い、将来のタイを担う人材を育成することを目的としているため、学費はもちろん、寮費、制服に至るまですべて国費でまかなわれています。

12校のうちの1校が、今回日本のSSH校と国際交流事業を進めたいと考えているとのことで、訪問されました。一行は、同校相談役で国立大学KMITL(King Mongkut's Institute of Technology Ladkrabang)元学長のゴーソン博士をはじめ、各校の校長先生など12名。あいにく前期期末試験中であったため、SSH活動を直接見ていただくことはできませんでしたが、校長室で片桐校長や本校のSSH担当教員とミーティングの後、校内施設を見学いただきました。



ICT(情報通信技術)を活用した教育に関する教員研修会

前期期末試験中の9月18日(木)、全教員を対象に研修会を行いました。

現在本校では、次年度(2015年度)より生徒全員が一人1台の情報端末を利用できるよう計画を進めています。今回の研修はそれに向け、タブレット型端末を実際に活用している広尾学園(東京都港区)の授業を見学しました。

当日は試験が終わって生徒が下校した後に、全教員がバスで広尾学園に移動しました。特別な公開発表授業ではなく、普段通りの授業を見せていただくことができました。ある教室では中学生一人一人が自分のアイパッドを机に置いて授業を受けていました。教員の指示でパッドを一斉に操作するのではなく、必要に応じてノートとして使ったり、調べものとして使ったりと、日常の中に溶け込んで利用している姿が印象的でした。また、ICT機器導入までの経緯や、利点、問題点などについても担当の先生から詳しい説明を受け、本校教員からも活発な質問が飛んでいました。



高輪消防署から表彰されました

9月10日(水)、高輪消防署から表彰を受けました。本校の教職員は、毎年救急救命講習を受講し、AEDの使用方法や緊急時の対応の仕方などを学んでいます。今回の表彰は教職員全員で、毎年研修を継続していることに対するものです。今年度は12月に講習を実施する予定です。今後も生徒・地域の安全確保に努めていきたいと思っています。



高輪消防署より表彰

学年だより 中1

写生大会

中等部では、前期期末試験終了後の9月19日(金)に写生大会を実施しました。1年生は5月に「はたらく消防の写生会」を実施しましたが、時間をかけて風景画に挑戦するのはこれが初めての機会でした。中等部全学年が、お台場にある潮風公園に集合し、1年生はレインボーブリッジが真正面に見える絶好のロケーションで写生をしました。2名の生徒に感想を語ってもらいます。

ふとよみがえる小さい頃の思い出

A組 中山 栞

私は、今年の写生大会で強く感じたことが2つあります。まず、私が小さい時のことを思い出しました。小さい頃、家族とよく出かけていました。空は真っ青でとても気持ちの良い空気、なつかしい風など旅行先で体験したことがふと頭の中によみがえってきました。何となくだけど、小さい頃の空間をまた味わうことができたのでうれしかったです。

次に、自然はやはりとても気持ちが落ち着く場所ということがわかりました。いつもと変わらず友達と仲良く絵を描いていましたが、一つだけ学校の教室にいるときと違うことがわかりました。風景です。暖かい日光に照らされ、気持ちの良い風が私をととても落ち着かせ、いつもより会話も弾みました。自然は落ち着く場所であり、自分のテンションを変えてくれる。そして、自分の今までの思い出をよみがえらせてくれるということを感じました。



レインボーブリッジに挑戦

友達と描いて

B組 岩瀬 正多朗

前期の期末テストの最終日は、写生大会でした。ぼくは、レインボーブリッジを友達と一緒に描きました。描いているときに友達と遊んでしまい、最初のうちは、正直なところ、あまり集中して絵を描けませんでした。でも、だんだんとその友達が絵を描き出して、ぼくも、一緒に描きました。たまには誰の絵がうまいか競ったりもしました。

ぼくは、写生大会がこんなに楽しいとは思いませんでした。また来年が楽しみです。できればまた、今回一緒だった友達と一緒に描きたいです。今回の絵は、結構いい絵になったと思います。だから、廊下に誰の絵が飾られるか楽しみにしています。ぼくの絵が飾られるといいな、と思っています。



屋外で気持ちいいなあ

学年だより 中2

写生大会

前期期末試験が9月16日(火)から18日(木)までの3日間行われ、その翌19日(金)に中等部恒例行事である「写生大会」を実施しました。一昨年度は芝公園、昨年度は葛西臨海公園でしたが、今回は潮風公園に舞台を移しての実施となりました。晴天に恵まれ、生徒たちは教室とは違った集中力で芸術活動に一生懸命打ち込んでいました。

東京湾を望むこの公園からは、高層ビル群やレインボーブリッジを眺望でき、開放的な景観が印象的でした。



絶好の写生大会日和



何をモチーフにしようかな

個性

B組 萩生田 薫

暖かい日差しを浴びながら、私たちはお台場の潮風公園で写生大会を行いました。

私が今回写生したのは、レインボーブリッジです。私は絵を描くことが苦手で、きれいな橋の形を上手く描くことはできませんでしたが、細かいところまで描き上げました。

晴れていたのでも、描きたいものが見やすくてよかったです。同じ場所で描いていた館野さんの絵と、私の描いた絵を見比べたら、あまりにもそっくりだったので驚きました。

他の友達とも見せ合いましたが、人それぞれ個性があるのだと見比べていて思いました。

写生大会を通して、じっくり風景を観察してどう思うのか考えることの大切さや、絵の上手下手ではなく、いかに真剣に取り組めるかが大事なことなのだと学びました。

写生大会で得たもの

A組 磯野 未来

私は観察というのはあまり好きではなく、むしろ苦手です。なぜなら、静かにして集中するというのが退屈で仕方がないからです。そんな私にとって写生大会は、観察をして絵を描くという最も苦手な行事なのです。

日差しがまぶしい中、私たちは潮風公園で写生大会を行いました。美術の森田先生が話していた通り、天気の良い中白い紙をずっと見ていると目がチカチカしたので、極力周りの風景を見るようにしました。あまり絵を書くのが得意ではない私は、憂鬱な気持ちで手を進めていきました。

しかし、友達の丁寧な絵を見て負けられないと思い、自分なりに頑張って書きました。上手くはないけれど、描き終わった時は充実感で心が満たされました。

私はこの写生大会で、心を落ち着かせるということをしただけ学べたのかなと思いました。



並んでスケッチ中

学年だより 中3

～いよいよ中等部最後の学期です～

早いもので、中等部生活も2年半が過ぎました。後期は高校進学に向けての準備期間です。今までの反省とこれからの決意を生徒たちに書いてもらいました。

後期の目標

A組 鈴木 里奈

後期は私たちにとって、中等部最後の学期となります。3年間を頭の中で、少し振り返ってみると、思い出がたくさんありますが、どんなに悔やんでも最後です。残り少ない時間を大切に、充実した3カ月にするために後期の目標は、「人間的に成長すること」です。他人の目ばかりを気にして自分を変えるのではなく、自分が本当に決めたことは貫ける人間になりたいです。毎日を楽しめるのは自分次第だと思います。同じ毎日ならば笑顔の多い楽しいものにしたいです。そして、自分のことだけでなくまわりのことにまで気を配ることのできる人間になりたいです。つらいこともいろいろあったけれど、だからこそ学べたこともあると思うので、それを最大限に生かせるようにしたいと思います。

後期に向けて

B組 立花 日南太

期末試験、私は自分なりに納得する点を取れました。中等部1年生から、確実に点数が上がってきていると思います。しかし学習量は、あまり変わっていません。おそらく、成績やテストの点数に対する気持ちが変わってきたからだと思います。1年生の頃は、テストの点数はある程度取ればよいと思い、学習はするもののあまり集中しませんでした。だからあまり点数は良くありませんでした。しかし、3年生になって、テストに対する気持ちも変わり、集中して勉強をやったので、中間も期末も納得の点数を取ることができました。しかし、苦手な教科は点数が上がらないので、後期からは、苦手な教科も克服し、点数をもっと取れるようにしていきたいです。

高校からは、勉強は難しくなり、部活動も忙しくなるので、かなり勉強する時間がなくなってしまうと思いますが、今までよりもっと高い点数を取っていけるように頑張りたいです。

～写生大会～

9月19日(金)、お台場の潮風公園で写生大会がありました。とにかく楽しそうな表情が印象的です。作品の出来栄はいかほどでしょうか…。



学年だより 高1

後期開始 其の2 ～学校生活を振り返って

入学式から半年以上が経過して、1年生の後期も始まりました。今回も、生徒諸君に前期の半年間を振り返ってもらい、高輪台高校での学校生活を紹介します。

学校生活

9組 立山 葵

私は、この半年間がとても早かったような気がします。勉強に部活動にと、毎日新しいことが多く必死になっていたからだと思います。さらには、9組で過ごした日々がとても濃く充実したものだったからです。

「9組と言えば?」という質問に必ずといってよいほど返ってくる言葉は、「明るい」「元気な」です。その言葉通り、9組はとても仲が良く、また、休み時間と授業中のメリハリのついたクラスです。試験前には、お互いに勉強を教え合ったり、授業中には質問を多くするなど、勉強にすごく積極的な面があります。反面、休み時間はみんなで話したり、行事には全力投球で取り組む面もあります。そんな9組にいるからこそ、毎日学校生活が楽しいと感じるし、いろいろなことに全力で取り組むことができるのだと思います。

1年生は残り半年ですが、クラス一丸となって、まずは建学祭、次に体育祭を成功させ、この1年間の思い出をより良くしていきたいです。

半年

9組 小林 慶伍

入学して半年が経ちました。この半年はとても早く感じました。私のクラスである9組は、とても元気が良く、良いクラスだと思います。

高輪台の生徒たちは挨拶がよくできていると感じます。それは、私が生活委員をしていて気付いたことです。また、登校時、校長先生をはじめとした先生方の挨拶も気持ち良く、下校時も挨拶してくれます。この習慣はとても良いことなので続けていければいいと強く思います。

私はサッカー部に所属していますが、良き3年生に出会えたと思います。まだ半年しか一緒に練習できていませんが、プレー中に励ましてくれる先輩もいれば、面白い先輩もいます。最高の3年生だと思います。3年生の試合を見て、ひとつのことに一生懸命に取り組むことのかっこよさを改めて感じさせてくれました。3年生が残してくれたメッセージを大切に、日々の部活動で仲間と切磋琢磨して、東京ナンバー1、そして全国ナンバー1を目指して頑張っていきたいです。



建学祭準備中



現代文明論の授業中



体育の授業中



学年だより 高2

研修旅行 ③ (最終回)

6月19日(木)から5泊6日で実施された研修旅行では、どのコースの生徒たちも普段の学校生活では体験できないさまざまな活動に挑戦しました。各コースの代表生徒たちの感想を紹介します。

ハワイHSコース 1組 カールバーグ 高介

貴重な体験

私は今回の研修旅行でハワイに行きました。初めの2日間はホテルに泊まり、残りの2日間はホームステイをしました。ホテルに滞在していた期間は主に班行動中心で、ハイキングや海などに行きました。普段あまり話すことのない生徒とも仲良くなることができました。また、パールハーバーでは日本の真珠湾攻撃について学びました。沈んだ船から出続けていた油は生々しいものでした。ホームステイでは現地に住む方の家に泊まり、異なる文化や言語の中で生活しました。初めはとても不安でしたが、少しずつホストファミリーの方々と仲良くなることができました。慣れない英語でのコミュニケーションでしたが、会話ができた時はとてもうれしかったです。今回の研修旅行で、世界にはいろいろな文化があることを学びました。今回学んだことを今後に生かし、人との接し方などを考えながら生活していきたいと思っています。



ホストファミリーと

オーストラリアHSコース 8組 野田 修平

成長

私はオーストラリアのホームステイをして学ぶことがたくさんあり、人としてとても成長できたと思います。もともと英語が苦手でホームステイ先で家族と仲良くできるかとても心配でした。しかし、そんな心配をすることもありませんでした。わからない英語があつて困っていると、わかりやすいように簡単な表現で話してくれました。私もそれにこたえようと積極的に話しました。最後の夜にはホストファミリーのお父さんといろいろな人生の話をして勉強になり、お母さんにも英語が上手だと褒められてうれしかったです。たった2日だけでしたが、たくさん学ぶことができて良い経験になりました。



ホストシスターたちと

学年だより 高3

体験留学制度

後期に入り、3学年では、東海大学への推薦候補者を対象に「体験留学」が始まりました。今回は、「体験留学」について、紹介します。

体験留学とは?

体験留学制度は、東海大学における一貫教育の取り組みの一つです。学力成績等の条件を満たした生徒を対象に、高校3年生の後期に進学予定の学部・学科の授業、試験等を先行して履修できるというものです。この制度によって、大学で開講されている専門教育を早期に受け、学問への意欲向上の効果が期待されています。履修した科目は、成績によって大学入学後に単位認定されます。この制度は高校から大学への接続をスムーズにすることも目的としています。

体験留学に参加している生徒たちの声

教養学部国際学科

1組 鈴木 捷之

「GLOBAL ISSUES」を受講しています。授業はすべて英語で、座学ではなくディスカッションがメインで、クラスの半分が外国人なので、必ずグループの中に1、2人は外国人がいます。国連が発表したMDGs(ミレニアム開発目標)に関する記事を教材に、差別や貧困について、みんな積極的に意見交換をしています。入学後も別の英語の授業をとり、在学中に海外留学にも挑戦したいと思っています。

観光学部観光学科

4組 山田 あすか

「サービス・マネジメント入門」の授業では、経済学を中心に観光産業について学んでいます。「観光文化入門」も受講していますが、授業のはじめに世界遺産になっている建物や場所の写真を見てから授業に入ります。先生と学生の距離が近い感じがする授業です。

情報通信学部情報メディア学科

4組 相澤 直人

「情報メディアリテラシー」と「プログラミング入門」を受講しています。どちらの授業もコンピュータ室で行われますので、コンピュータの操作に慣れていないと少し苦勞する科目だと思います。それに大学は進むのが速いので、わからないことを積極的に質問したり、尋ねたりすることが大切だと感じています。

工学部航空宇宙学科

7組 中山 真由美

「宇宙利用技術」と「航空機整備」の授業を受講しています。授業は広い教室で行われるため、先生はマイクを使います。教室内の雰囲気は、授業が始まるとすぐに静かになり、周りの学生たちは真剣に教授の話聞いてノートをとっていて圧倒されました。

体育学部体育学科

8組 牟禮 果菜子

「体育理論の基礎」「保健理論の基礎」「体育・スポーツの見方」を受講しています。授業では、先生の体験談などを話してくれるので、おもしろくて授業内容が頭に入ってきます。ただうっかりすると大切なことがサラッと進んでしまうので、ノートをとり忘れないようにするのが大変です。

理学部数学科

9組 岡部 魁

「微分積分学1」「微分積分学2」「行列と行列式」を受講しています。先生がわかりやすく教えてくださいますが、高校までの知識があるのとないのでは理解度が全く違うと思います。実際、大学生でも高校の知識がしっかりと入っていない人が単位を落としていると先生もおっしゃっていました。

体験留学に参加している生徒たちのお気に入りの場所は?

- 湘南キャンパス： ドーボール(とにかく落ち着きます)／ログハウス(カントリー風なのがイイ)／7号館に入ってスグのところにあるベンチ(人が少なくて目の前の緑の掲示板が目によさしい)など
- 高輪キャンパス： B1Fにある図書館(たくさんの種類の本が揃っていて、個室で映画を見ることもできます)

SSH活動報告

3年SSHクラスでは、「課題研究」という授業を行っています。この授業では、個人あるいはグループで研究テーマを決め、実験を行い、その成果をさまざまな機会に発表しています。今回は、夏休み中に行われた外部発表の感想を書いてもらいました。

生徒研究発表会を経て

3年9組 平野 琢登

私たちは、8月6日・7日に行われた『SSH生徒研究発表会』で研究の成果を発表してきました。私たちの研究は『おいしい煮物を化学してみた』という、料理に関する比較的身近なテーマで研究しています。しかし、普段から何の気なしに使用しているものを数値化することはとても大変でした。例えば味を数値化すると言っても、糖度・酸度、塩分濃度などからどれを測定するのか。また、どのような方法で測定するのか。このように研究の方針を固めるだけでも苦労しました。しかし、同じ班の仲間や高校・大学の先生方と協力をして、この研究を形にすることができました。

発表会当日は緊張もありましたが、これまでの成果を皆さんに存分に伝えることができたと思います。それから他校の発表を聞き、研究の仕方やポスターの作り方など自分たちに足りない部分を明確にすることができました。今回このような場で他校の生徒さんと交流することができ、とても良い経験となりました。



多くの人に発表を聞いてもらいました

言葉を使わず会話する

3年9組 松井 航平

私は8月9日から12日まで『SKYSEF2014』にて英語プレゼンテーションを行い、「ベストパフォーマンス賞」を受賞しました。しかし、私は英語をしゃべることが大の苦手です。今回の英語プレゼンは全く自信がありませんでした。そこで画像や動画を多用し、さらに実験に使用した器具を実際に見て触ってもらえるようにしました。「情報を伝える手段は言葉だけではない」ということに気付いたのです。相手も私の伝えたいことを必死に理解しようとしてくれます。私が英語で伝えることができなかったとき、画像を見せると深くうなずいてくれました。それを見て私は安心感と自信が溢れてきました。大切なのは英語がしゃべれるかではなく「相手に伝えたい」という気持ちなのだと感じました。私はプレゼンテーションにおける失敗とは「相手に飽きられること」だと思っています。相手を惹きつける・釘付けにするプレゼンテーションを日本語でも英語でも行えるよう、これからも努力してゆきます。



英語が話せると楽しい!!!

マスフェスタを通して

3年9組 伊東 慎一郎

今回、私たちは8月23日に大阪の大手前高校で行われた数学の研究発表会『マスフェスタ』に参加してきました。そのマスフェスタに参加した研究というのがグラフアートの、主に関数を使い実際にある建物を表現するというもので、この研究をしていく上で苦労したのは、計算とどの関数を使うかを考えてその関数を範囲指定、平行移動、媒介変数表示するのにとても苦労しました。計算も10桁の計算や開閉法の計算、関数の計算などと苦労することが多かったです。マスフェスタでは数学の研究してきた人が発表していき、どれも「このような考え方をしたのか」とか「この方法で研究したのか」「自分ならこうする」と思うような内容ばかりで刺激を受けました。このマスフェスタに参加、発表することで緊張感ある発表を味わうことができ、自分たちの研究の改善点、行く先のアイデアを得ることができたと思います。普段向き合うことのない難しい数学や身近にある素朴な疑問と数学を体験できてよかったです。



発表することで、自分の研究がさらに深まりました

TOKAI キャンパスメッセージ

身の回りのものの性質や変化を学ぶ化学科

東海大学理学部化学科主任教授 藤尾 克彦

私たちの身の回りのもの、家も衣服も食べ物もすべて化学物質でできていますし、私たちの身体もタンパク質や脂質などの化学物質でできています。化学は、このような化学物質の性質や反応を学び、私たちの生活を豊かで快適なものにするを目指す学問です。

化学科では、化学の基礎から応用まで順を追ってしっかり学ぶことができます。入学すると、まず高校化学の復習から大学化学の入り口までを1年間かけてしっかり身に付けてもらいます。2年生では大学化学の基礎科目である物理化学、分析化学、無機化学、有機化学を学び、3年生になると高分子化学、生命化学、環境化学、地球化学などの応用科目を学びます。最後の1年は、卒業研究として最先端の化学研究に取り組んでもらいます。

化学は化学物質を扱う学問ですが、机上の勉強だけでは化学物質を取り扱うテクニックは身に付きません。化学

科では、実験に力を入れており、週1回は実験の授業があるように時間割を組んでいます。今年4月に完成した18号館の化学実験室で、授業で学んだ反応を実験することにより、知識を確かなものにすると同時に実験テクニックを身に付けていきます。

この世のあらゆるものは化学物質でできているので、化学は工学、医学、薬学、農学などの理系の学問の基礎となる重要なものですし、化学の知識はあ

らゆる分野で役に立ちます。したがって、卒業生は製造業をはじめ、情報通信業や商社など一見化学とは無関係な業種にも就職しています。化学科では化学を基礎からしっかり学ぶことができますから、中・高の教員志望の方にも適しています。化学が好きな人、実験が好きな人、化学科で化学の知識と実験テクニックを身に付け、化学を生かして社会貢献できる社会人を目指しましょう。



実験の授業風景

諦めずに追求しよう!

三保谷 綾

東海大学理学部化学科4年(高輪台高校2011年3月卒業)

私たちの周りには化学物質のさまざまな性質を生かして作られている製品が多く存在しています。例えば洗剤や、医薬品、塗料などがそうです。これらの製品がどのような原理でできているか考えたことはありますか?

化学科では、このような日常に溢れている化学の原理について知ることができます。なぜなら分野にとらわれず有機化学、分析化学、無機化学、物理化学につまる化学の全ての分野を学ぶことができるからです。まず、1年生で基礎の化学を学びます。基礎の

化学実験もあり、机上での勉強だけではなく実際に実験をすることで理解を深めることができます。そして2年生から3年生で専門分野(有機化学、分析化学、無機化学、物理化学)について学びます。最終学年の4年生では、研究室に配属され、その研究室に沿ったテーマを自分で実験して進めていきます。

私は、3年生の時に有機化学の分野に興味を持ち、有機合成をしている研究室に入りました。研究室はみんな仲が良く、支え合いながら研究をしていま

す。有機合成は特に時間がかかり、上手くいかない時も多いです。それでも諦めず研究を続けて結果が出た時はとてもうれしいです。

大学は、自ら進んで勉強していくことが重要になります。勉強しなければ単位は取れません。逆に勉強すれば自分の力となって将来の幅が広がります。勉強嫌いの人が多いと思いますが、高校生の間に勉強する習慣をつけて、大学に進学する方がより楽しい学校生活が送れると思います。

お知らせ

ベストティーチャー・タイプA候補決まる

5月15日、9月11日に「生徒による授業評価アンケートを行いました。その結果、今年度のベストティーチャー・タイプA候補として9名の先生方が決まりました。保護者の皆様には、11月19、20日の「一斉公開授業」をはじめ、11月29日までにご都合の良い日に来校の上、9名の先生方の授業をご覧いただき、保護者による「授業評価アンケート」にご協力をお願いいたします。

【2014年度ベストティーチャー・タイプA候補一覧】(教科順)

	教員名	教科
中等部	上松 未来	理科
	田中 亨	英語科
高等学校	古田 奈穂	技術・家庭科
	田中由希子	地歴・公民科
	中島 仁美	芸術科(音楽)
	野口 大輔	国語科
	吉澤 俊介	国語科
	宇津 浩	保健体育科
	島村 誠	保健体育科

※付記

以下の過去3年間にベストティーチャー・タイプAに選ばれた受賞者は、規定により、候補から除外されています。

2011年度：野々村淳・佐藤泰士

2012年度：今井貴志・近藤祐輔

2013年度：日塔瑞乃・小松原洋行・笹井愛佳

※授業実施時間は学級担任または学校にお問い合わせください。「一斉公開授業」の時間割は前日に配布いたします。

行事予定

November 11月

December 12月

- 1日(土) 東海大学建学72周年記念日 休業日
- 3日(月) **文化の日**
- 6日(木) 学年集会(中3、高3)
- 7日(金)・12日(水) スポーツ大会(予備日)
- 8日(土) 創立70周年記念祝賀会(午後)
- 9日(日) **中等部受験生・保護者学校説明見学会(4回目)**
- 13日(木) 学園高大連携総合試験(高3)
基礎力判定テスト(高1、高2)1回目
外部実力試験(中等部)
- 14日(金) 後援会湘南校舎見学研修
- 15日(土) **中等部水泳実習2回目(湘南キャンパス)**
- 16日(日) **高校受験生・保護者学校説明見学会(4回目)**
- 18日(火) 校医相談日⑦
- 19日(水) 一斉公開授業(2回目) 専門医によるカウンセリング④
- 20日(木) 一斉公開授業(2回目) 中等部合唱祭(1・2限)
- 23日(日) **勤労感謝の日**
- 24日(月) **振替休日**
- 27日(木) 生徒による授業評価アンケート(3回目)
- 29日(土) 後援会委員総会

- 1日(月) 朝礼[正制服着用] 45分短縮授業
- 2日(火) 卒業試験(高3～12/5)
後期中間試験(中等部～12/3、高校～12/5)
- 4日(木) 中等部スポーツ大会(午前:アリーナ)
午後授業
- 5日(金) 中等部校外活動(中1:落語・中2:日本科学技術館・中3:文楽)
- 6日(土) 中等部3年保護者会
高校3年自宅学習日
- 7日(日) **高校受験生・保護者学校説明見学会(5回目)**
- 8日(月) 答案返却日(高3)
- 9日(火) 特別講座開始(高3～1/31)
校医相談日
- 12日(金) 中等部三者面談開始
- 15日(月) 生徒自宅学習日
- 18日(木) マナー講座(高3)
- 19日(金) 月曜日の授業
- 23日(火) **天皇誕生日**
- 24日(水) 午前中授業 火曜日の授業 冬期休暇前諸注意・大掃除
- 25日(木) 冬期講習(～27日)

建学祭準備



編集後記

秋も深まり、一段と朝晩の冷え込みが増してきた。天高く馬肥ゆる秋、どこまでも澄み切った秋の空を見ていると心まで澄み切った気分になれる。秋と言えばいろいろな「○○の秋」がある。本校でも建学祭や体育祭が行われ、それぞれの場面で生徒たちは仲間とともに力を発揮していた。筆者も昔は走ることに、跳ぶことに肉体派を自負していたが、最近ではめっきり無理をすれば腰痛であたまたた...なんて情けない状況も...。さて皆さんは、どのような秋をお過ごしでしょうか。(ほ)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ: <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>